

学校における防災指導用資料

大地震に備えて (三訂版)



千葉県教育委員会

はじめに

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、多くの尊い人命や財産を奪い、私たちにあらためて自然災害の恐ろしさを見せつけるとともに、防災対策の重要性等様々な教訓をもたらしました。

特に、今回の震災では、多くの被災者が学校に避難し、地域の防災拠点として学校は大きな役割を果たしました。そして、同時に自らも被災しながら、避難所の支援と教育活動の再開に努めた教職員も大きな注目を集めたところです。しかしながら、過去に経験の無い避難所対応をはじめ、ライフライン寸断の中での児童生徒の安否確認や被害状況の把握、応急教育の実施等様々な新しい課題が投げ掛けられました。

一方、今回の震災は午前5時46分という未明の発生でしたが、もし日中の教育活動中に起きていたら、どれだけの被害になったかを考えると背筋の凍る思いがいたします。もちろん各学校においても、従来から避難訓練をはじめとして、防災教育や防災体制の整備に努められておりますが、この阪神・淡路大震災ほどの被害想定はされていなかったと思われま

す。地震については、科学技術が著しく発達した今日においても予知は困難であり、いつ、いかなる場においても安全に対処できる能力を児童生徒に身に付けさせるため、日頃からのきめ細かな指導が必要であり、また教職員はもとより、家庭や地域並びに関係機関等と連携を踏まえた学校の防災体制の充実が必要不可欠であります。

そこでこのたび、阪神・淡路大震災の教訓や文部省の「学校等の防災体制の充実に関する調査研究協力者会議」の報告書等を参考に、平成4年3月改訂の「防災指導用資料 大地震に備えて」を再度改訂いたしました。

本冊子では、平素からの防災対策、地震発生時での対応策、そしてそれらに関する資料等から構成されており、学校における基本的な取り組み方を示しております。しかしながら、災害は一様ではなく、また学校や地域の実態も様々なことから、それぞれの状況に応じた対応策が求められますが、その際の参考として、広く各学校において活用いただけますようお願い申し上げます。

最後に、本冊子の作成に御尽力いただきました、関係諸機関・団体の皆様に厚くお礼申し上げまして挨拶といたします。

平成9年3月

千葉県教育委員会教育長 中村好成



目 次

○ はじめに	
○ 写真資料 阪神・淡路大震災	1
[平素の心得編]	
I 学校における平素の準備	7
1 学校における防災計画の策定	7
(1) 防災計画とは	7
(2) 防災計画の内容	7
(3) 防災計画立案上の留意点	8
(4) 防災体制の確立	8
2 施設・設備の安全管理	11
(1) 安全点検の種類	11
(2) 安全点検の方法と留意点	11
(3) 安全点検の事後措置	12
(4) 地震災害に備えた安全管理	12
3 防災教育の充実について	13
(1) 防災教育のねらい	13
(2) 防災教育の重点	14
(3) 指導上の留意点	17
(4) 避難（防災）訓練の充実	17
4 家庭・関係機関等との連携	23
(1) 市町村当局との連携	23
(2) 警察署，消防署，保健所などとの連携	23
(3) 家庭や地域との連携	24
[地震発生時編]	
I 地震発生時における対応	25
1 学校における地震発生時の心得	25
・ 地震発生時の対応（例）	27
2 学校管理下で発生した場合	29
(1) 予想される危険と避難誘導	29

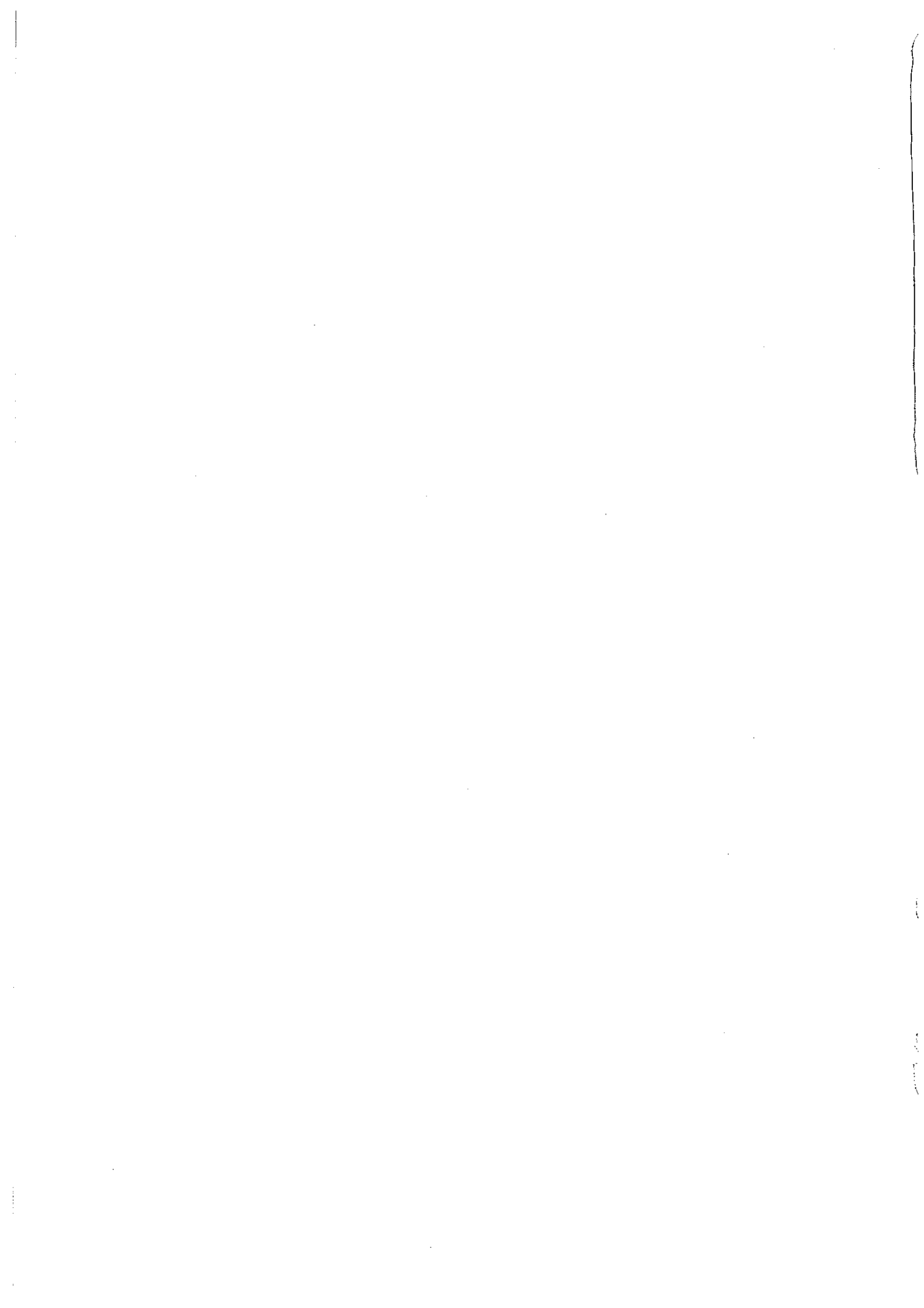
ア 普通教室	29
イ 特別教室	30
ウ 屋 上	31
エ 体 育 館	31
オ 校 庭	31
カ 給食時間中	32
キ 休憩時間中	33
ク 部 活 動 中	34
ケ 校外における学校行事	34
コ 登下校中	35
(2) 初期消火・搬出活動	37
(3) 救護体制	38
(4) 大地震発生後の安全点検	39
(5) 保護者及び関係機関への通報・連絡	39
(6) 児童生徒等の保護者への引き渡し	40
3 在宅時に発生した場合	41
(1) 職員の参集	41
(2) 被災状況の把握	41
4 学校が避難所となった場合	41
(1) 施設開放について	42
(2) 教職員の役割等について	42
II 学校再開に向けて	43
1 学校の教育活動再開に向けて	43
(1) 児童生徒等の被災状況の把握	43
(2) 教職員の被災状況の把握	43
(3) 施設・設備等の点検・確保	43
(4) 教育活動再開の決定・連絡	43
(5) 滅失・毀損した教科書等の確保	44
2 心のケアについて	44
(1) PTSD とは	44
(2) PTSD の特徴 (例)	45
(3) PTSD の対処法	45

[東海地震に備えて]

1	東海地震とは	47
2	震度6以上が想定される地域	47
3	警戒宣言の意味	47
4	警戒宣言が発令された場合の千葉県の対応	47
5	警戒宣言が発令された場合の千葉県における学校での対応	48

[資料編]

1	地震の知識	49
2	震度階級表	51
3	安全点検の場所と対応箇所(例)	52
4	学校におけるロッカー等の転倒防止策の例	54
5	幼稚園における避難訓練指導例	56
6	小学校における学級活動(安全指導)例	57
7	“ 避難訓練指導例	58
8	“ ワンポイント避難訓練例	59
9	中学校における学級活動(安全指導)例	60
10	“ 避難訓練指導例	61
11	高等学校におけるホームルーム活動(安全指導)と避難訓練指導例	62
12	千葉県防災行政無線衛星系回線構成図	64
13	文教施設被害詳細報告, 避難所・救護所開設状況報告	65
14	応急手当	66
15	児童生徒の阪神・淡路大震災体験作文	71



阪神・淡路大震災

(市街地の被害状況)



◀ 途中階が潰れた中央区のビル



▲ 橋脚から倒れた高速道路



◀ 高速道路の損壊に、危機一髪のバス



▲ビルの倒壊により、道路が塞がれた中央区加納町



▲電柱の倒壊



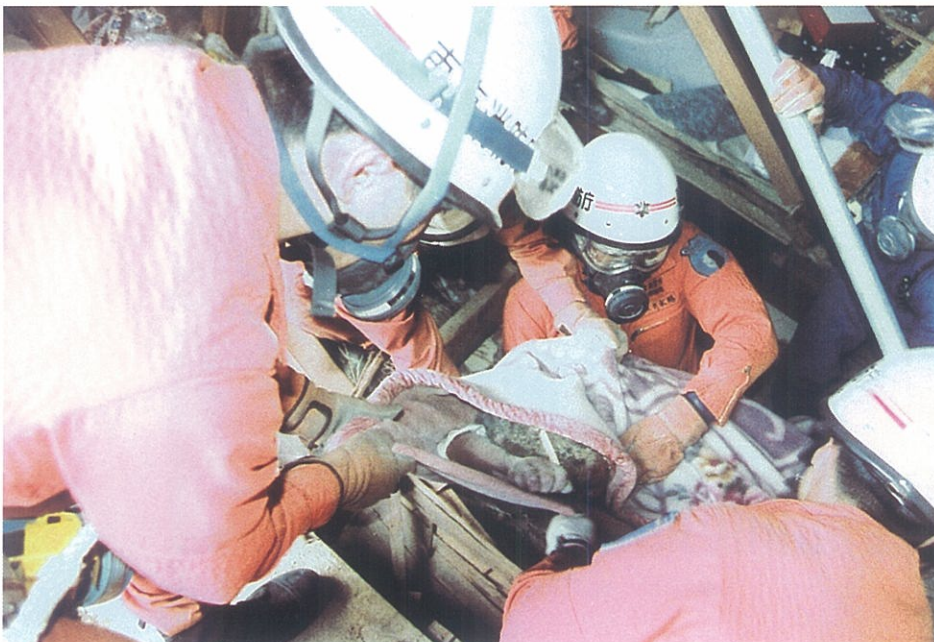
▲崖崩れにより、石垣が崩壊し、落下しそうな車



◀いたるところから火災の黒煙が上がる，
17日午後の長田区



▲地震とその後の火災で，
廃墟と化した長田区内



▲消防署員による必死の住民救出



▲避難住民のために建設された仮設住宅（長田区）

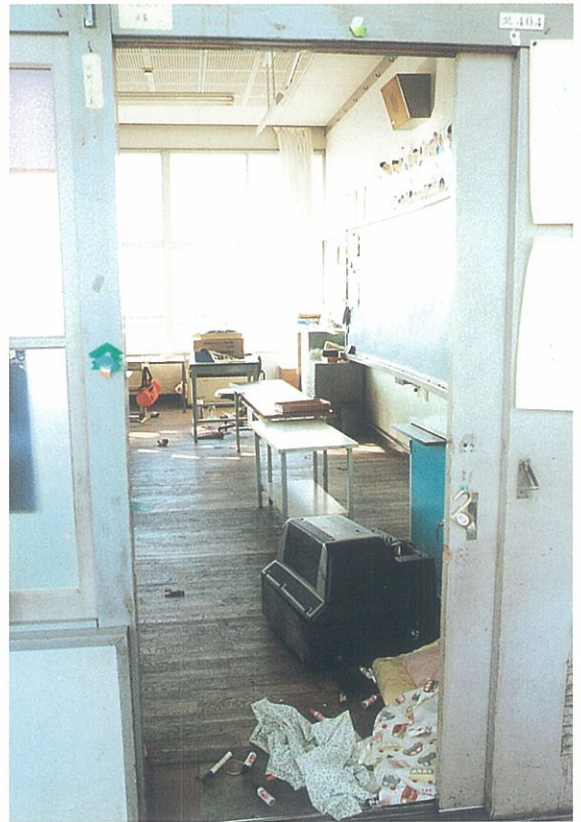


▲情報・連絡のために門扉に掲げられた掲示物

(学校の被害状況)



▲ロッカーが転倒した教室



▶テレビが落下した教室



◀天井板や蛍光灯等が落下
散乱した体育館



◀ 倒壊した校庭のブロック塀



▲ 天井板が殆ど落下し、骨組みがむき出しの体育館



▲ ガラスが飛散し、曲がった窓枠と一部損壊したガラス器具